

**平成26年度進行管理・評価シート**  
**尾道市歴史的風致維持向上計画（平成24年6月6日認定）**  
（最終変更平成26年3月31日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域内の都市計画(尾道・向島歴史的風致地区)	.....	2
2 重点区域内の都市計画(瀬戸田歴史的風致地区)	.....	3
3 屋外広告物の制限(尾道市屋外広告物条例)	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 浄土寺方丈ほか5棟保存修理事業	.....	5
2 重要文化財西國寺金堂建造物保存修理事業	.....	6
3 浄土寺建造物防災設備整備事業	.....	7
4 まちなみ形成事業	.....	8
5 指定文化財管理事業	.....	9
6 文化財防災啓発事業	.....	10
7 道路美装化事業	.....	11
8 道路美装化事業(幹線街路)	.....	12
9 沿道建造物等修景事業	.....	13
10 老朽危険建物除却促進事業	.....	14
11 空き家再生促進事業	.....	15
12 夜間景観形成事業	.....	16
13 多国語音声設備設置事業	.....	17
14 歩行者安全対策事業	.....	18
15 道路水路修繕事業	.....	19
16 文化財調査・研究事業	.....	20
17 郷土芸能祭開催事業	.....	21
18 史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業	.....	22
19 文化財愛護少年団事業	.....	23
20 文化財講座開催事業	.....	24
21 民俗芸能等支援事業	.....	25
22 尾道歴史文化読本作成事業	.....	26
23 文化財めぐり事業	.....	27
24 近代化遺産活用事業	.....	28
25 文化施設ネットワーク事業	.....	29
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査に関する事項	.....	30
2 文化財の修理に関する事項	.....	31
3 文化財の防災に関する事項	.....	32
4 文化財の継承の仕組みに関する事項	.....	33
5 文化財の活用に関する事項	.....	34
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 尾道市が文化庁長官表彰 ほか	.....	35
⑥その他(様式1-6)		
1 他都市等の行政視察、調査等の受け入れ に対する取組	.....	36

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	.....	37
-------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	平成26年度
計画の推進体制		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- 計画策定段階の庁内検討会を継承・発展させた関係課による推進体制を構築
- 文化財部門の文化振興課とまちづくり推進課のより密度を高めた連携・調整等
- 国・県等関係機関との協議と適切な支援を得るよう努める

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)は、進管理・評価や計画の変更認定について意見を伺う予定である(平成27年3月18日開催予定)。庁内体制では、まちづくり推進課が行う「ハード整備(道路美装化事業)」の実施にあたっては、庁内の道路管理部門、商工及び観光部局と日常的に協議を実施し、円滑な進捗に努めた。また、広島県の「観光地の価値向上戦略策定 尾道プロジェクト」において開催されたワークショップ「尾道観光創造セッション」に政策企画課、観光課、文化振興課、まちづくり推進課で参加し、情報の交換に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)の開催  
 ・平成26年度 平成27年3月18日(水)開催 議題:進管理・評価、変更認定計画(案)など

平成26年度第1回法定協議会【H27.3.18】開催



『観光地の価値向上戦略策定事業』における「尾道観光創造セッション」のリリース

尾道市観光局

平成26年9月12日  
 講者 観光課  
 担当 山本  
 内線 3392  
 直通 082-813-3392

魅力ある観光地づくり事業

「尾道」の未来はどこにある?  
**初開催!「尾道観光創造セッション」**  
 第1回 テーマ:「ホスト」×「ゲスト」



セッション会場①

セッション会場②

広島県では、今年度、「魅力ある観光地づくり事業」として、中長期を見据えた観光客の持続的な来訪を図るため、地域が有する観光資源の価値を高めるための戦略づくりを進めています。

尾道市では、戦略づくりを進めていくにあたって、市民の協働の可能性を探っていく「尾道観光創造セッション」(全3回予定)を開催します。

第1回の9月18日は、尾道観光の未来について、ホスト(地域)の観点から、ゲスト(観光客・尾道ファン・尾道への移住者等)の観点からアイデアを出し合うことで方向性を検討します。

日時 平成26年9月18日(水) 18:45~21:00  
 会場 しまなみ交流館1階ギャラリースペース(尾道市東町所前10-1)  
 内容 オープニングトーク  
 テーマ「尾道」を育てる観光創造とは(仮)  
 北海道大学観光学高等研究センター特別招聘教授 石原 勇三氏

セッション

【ホスト(地域)】  
 尾道学研究会事務局長 林 良司氏  
 尾道市観光協会 石原 尚味氏

【ゲスト(観光客・尾道ファン・尾道への移住者等)】  
 (株)ディスカバーリンクせとら 広報責任者 井上 善文氏  
 ネノコナン 代表 永井 真介氏

進行 北海道教育大学国際地域学講師 迫ノ上 誠一氏  
 尾道市観光課課長補佐 新宅 康生氏

備考 参加料無料 ※会場に入場しない場合はお断りする場合がございますのでご了承ください

このプログラムでは、「フューチャーセッション」という手法を用いて、議論を深めています。フューチャーセッションは、異なる立場の参加者同士が未来志向の議論を深め、互いの考えや価値観を共有し、未来の課題や解決策を探ります。

(参考)

開催時期	テーマ(予定)	備考
第1回 9月18日	Session1 「尾道」の未来はどこにある?「ホスト」×「ゲスト」	今回開催
第2回 10月予定	Session2a 誰が語る?「尾道」の価値(仮)×「魅力」	
	Session2b 豊かな観光スタイルとは?「民間事業者」×「観光」	
第3回 2月予定	Session3 尾道の価値向上戦略、そしてこれからの尾道は? (年度報告会)	

《観光資源の価値向上戦略策定事業》

- OWS : 平成26年7月14日
- OWS : 平成26年9月18日
- OWS : 平成26年12月4日~5日
- 〇報告会 : 平成27年2月27日

《歴まちだよりの発行》  
 平成27年4月17日発行  
 平成26年度実施事業について

尾道市歴史的風致維持向上計画だより

尾道市歴史的風致維持向上計画について  
 平成24年度から「尾道・向島」と「尾道市」地区の一部を、尾道市歴史的風致維持向上計画における重点区域と定め、良好な環境(歴史的風致)を維持及び向上させ、後世に継承することを目的とした、様々な事業を行ってまいります。

【平成26年度実施事業】

種別	内容	件数
補助金	歴史的建造物の修繕や調査の両立、老朽危険建築物の撤去などに対して補助金を交付しました。	
まちのみ形事業	歴史的建造物等、建築物有期更新が促進。歴史資料館のふるさと博物館(工作物)の所有権委託が、本館の歴史館移設に伴い、経費の3分の1最大200万円を補助。	3件
歴史再生促進事業	歴史再生促進事業として実施している「歴史館」が平成26年度に歴史館の歴史再生促進事業が、計画的な修繕、本館を再整備して歴史再生促進、経費の3分の1最大200万円を補助。	6件
伝統建造物修復事業	伝統建造物修復事業として実施している「歴史館」が平成26年度に歴史館の歴史再生促進事業が、計画的な修繕、本館を再整備して歴史再生促進、経費の3分の1最大200万円を補助。	11件
老朽危険建築物撤去促進事業	老朽危険建築物撤去促進事業として実施している歴史館の所有権委託の促進に伴い、平成26年度に最大200万円を補助。	11件



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
景観計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 尾道市の景観施策については、平成16年に施行された景観法に基づき、積極的に尾道の景観の保全と創造に取り組んできている。今後とも4点セット(景観条例、景観計画、景観地区に関する都市計画、屋外広告物条例)を基本に景観重要建造物・景観重要樹木の制度の導入等を検討しながら、歴史的風致の維持及び向上の面からも、景観施策に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観条例を施行し、併せて景観計画を旧尾道市・向島町を対象として定め、さらに平成22年4月1日に尾道市全域に拡大して定めている。景観計画においては、景観計画区域内で建築物の新築等の行為を行う場合は、規模等により、あらかじめ市長に届出が必要とするなど、「心に残る尾道の景観」の形成を図ることとしており、引き続き、冊子等により制度への理解を求め周知に努めた。  
 ◇平成26年度 届出件数54件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

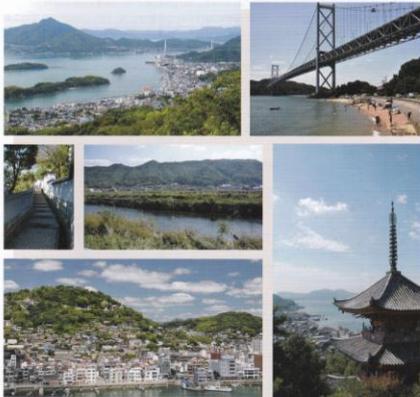
景観計画区域内	
平成年度	届出件数
24	72件
25	64件



景観計画等の制度の概要をまとめた冊子

尾道の景観施策のあらまし

活力あふれ感性息づく芸術文化のまち尾道  
 「心に残る尾道の景観」の形成を目指して



尾道市

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
景観地区	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 景観計画で位置づけた重点地区のうち尾道・向島地区については、都市計画で景観地区を定めている。この地区では、建築物等のデザインや色彩を制限するほか、眺望景観を守るために一致の区域で建築物の高さを制限する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観法による景観地区を都市計画に定めた。景観地区においては、建築物・工作物の形態意匠を制限し、建築物の新築等について、規模の大小を問わず、市長に認定申請が必要としている。建築物の高さ制限については、15m、21m、24m、27mに区分し、これらの制限値を超える建築物は、建築確認済証が交付されない。制度への理解を得るとともに、随時パトロールを行い冊子等により認定制の周知に努めた。  
 ◇平成26年度 認定件数64件

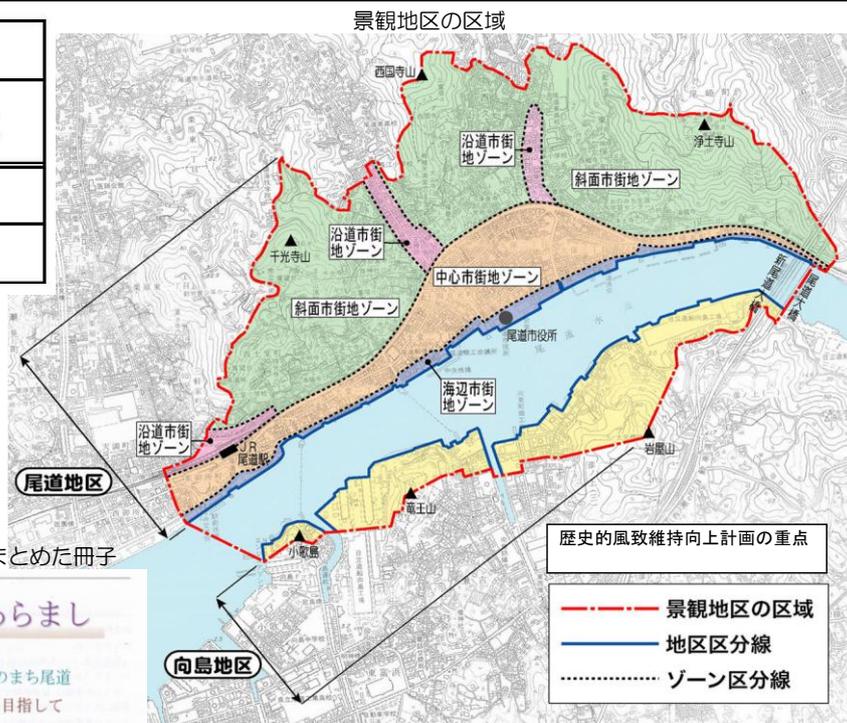
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

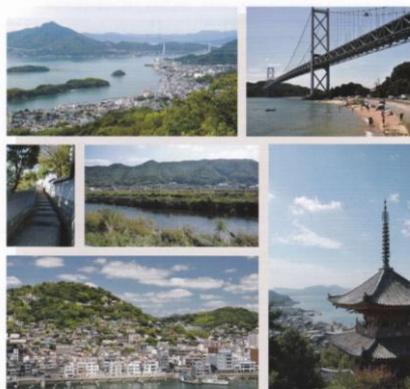
景観地区内	
平成年度	認定件数
24	19件
25	33件



景観計画等の制度の概要をまとめた冊子

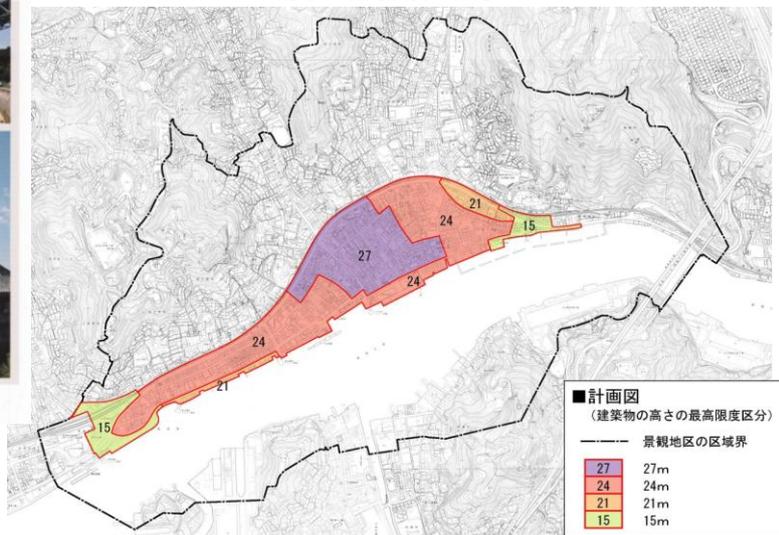
尾道の景観施策のあらまし

活力あふれ感性息づく芸術文化のまち尾道  
 「心に残る尾道の景観」の形成を目指して



尾道市

高さの最高限度の区分



■計画図  
 (建築物の高さの最高限度区分)  
 - - - 景観地区の区域界  
 ■ 27 27m  
 ■ 24 24m  
 ■ 21 21m  
 ■ 15 15m

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成26年度
屋外広告物の制限(尾道市屋外広告物条例)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 ①景観計画区域内の制限: 周囲の景観との調和や建築物との一体性が確保されるように制限を行っている  
 ②景観地区内の制限: ①の制限に加え、「屋上広告物は設置できないものとする」などの制限を行っている

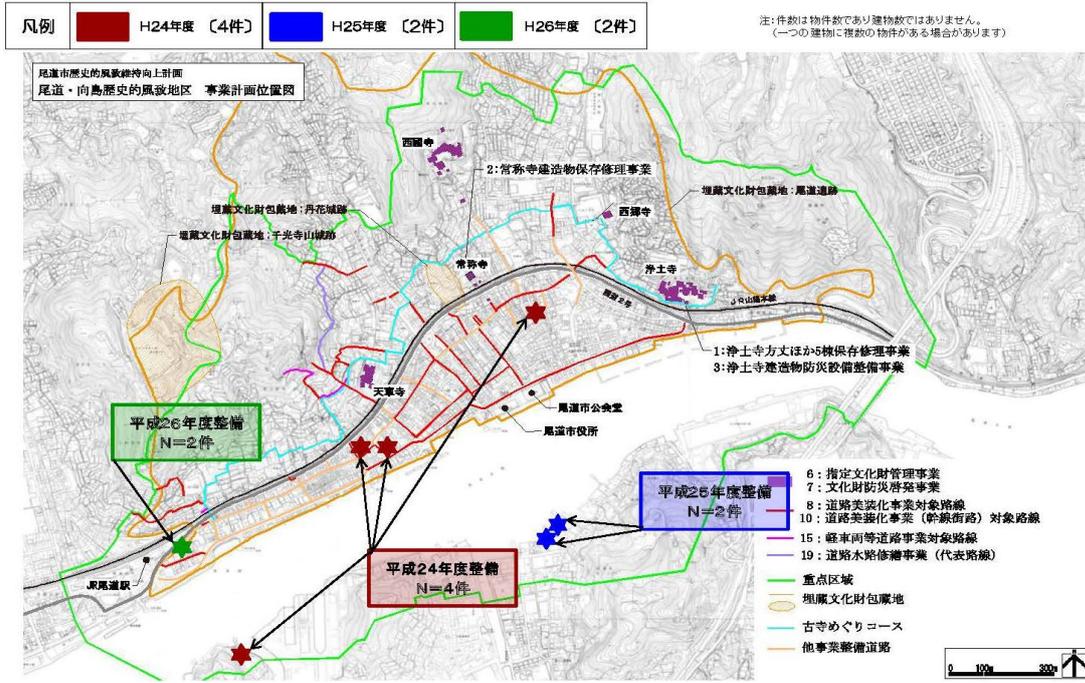
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日屋外広告物条例を施行し、必要な規制を定め、良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止に努めている。特に屋上広告物の設置が禁止されている景観地区内においては、「尾道市屋上広告物撤去に係る補助金交付制度」を創設し、既存不適格物件の所有者に対して制度を活用した屋上広告物の撤去を継続して要望している。  
 ◇平成26年度 制度活用実績 2件 [撤去対象物残件数=17件]

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【屋上広告物の制限に係る撤去補助金交付制度】



制度活用前



制度活用後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
浄土寺方丈ほか5棟保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～26年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 浄土寺の方丈・露滴庵・宝庫・庫裏及び客殿・唐門・山門の保存修理事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成19年度から事業実施し、平成26年度で全ての保存修理工事が完了した。  
 ・平成22年：方丈の半解体修理及び露滴庵の屋根葺き替え部分修理が完了  
 ・平成26年：庫裏、宝庫、唐門の半解体修理及び山門脇塀の解体修理が完了  
 ○平成24年2月：修理現場の特別公開(参加者2,350名)  
 ○平成26年10月：保存修理工事完了式典・11月2～3日：特別公開(参加者1,123名)  
 各種公開を行い文化財建造物の保存修理の普及公開に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

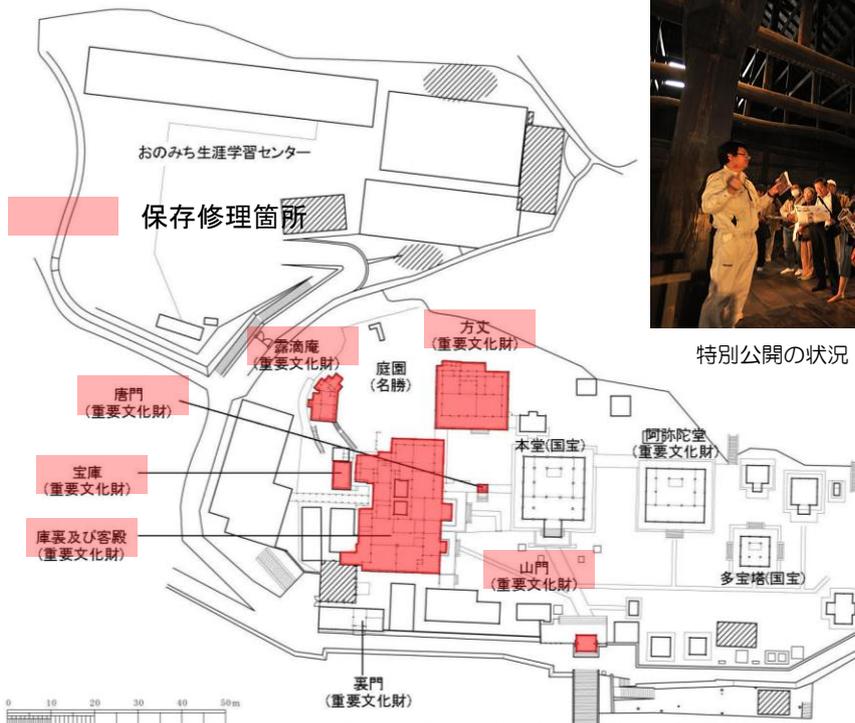
計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

修理中<庫裏及び客殿>



修理後<庫裏及び客殿>



特別公開の状況(平成27年11月2日、3日)

広島県尾道市 入場無料

### 「浄土寺 特別公開」

文化庁「ふるさと文化財の森システム推進事業」

尾道市 尾道浄土寺

11月2日(日)～3日(月・祝)

大本山 浄土寺 午前9時30分～午後4時

広島県尾道市浄土寺1-1-1 電話:0834-22-1111 FAX:0834-22-1112

図2-2 浄土寺の伽藍配置

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
重要文化財西國寺金堂建造物保存修理事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～27年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 西國寺金堂の部分修理(瓦破損箇所への差し替え、来迎壁背面の彩色剥落止め)を行う

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度から、瓦破損箇所の差し替え、来迎壁背面の彩色剥落止めに着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



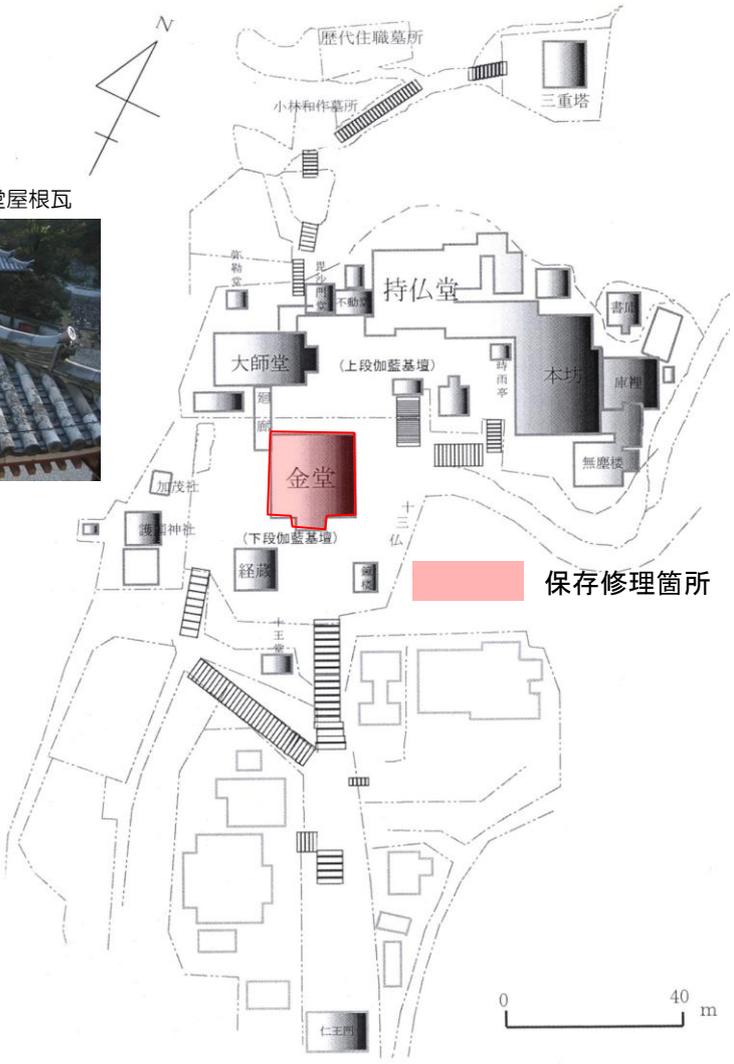
西國寺金堂



金堂屋根瓦



来迎壁



保存修理箇所

評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
浄土寺建造物防災設備整備事業	平成26年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～27年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 重要文化財建造物への防災設備を整備する

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

『浄土寺方丈ほか5棟保存修理事業』の完了後に着手し、現在、防災設備設置工事を実施中である。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

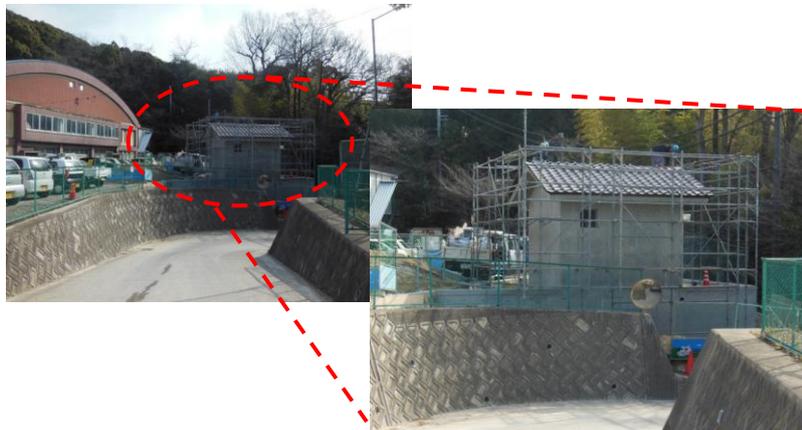
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



浄土寺の伽藍配置

境内における配管等の設置工事状



防火水槽の整備状況



評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
まちなみ形成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成15年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)
計画に記載している内容	個性的で風格のあるまちなみを創出することを目的に、散在する歴史的建造物・工作物(歴史的風致形成建造物を除く)の所有者等が行う、建築当時の形態意匠を再現又は維持することを目的とする建造物の外観の修理、外観変更等の整備に要する経費に対して補助金を交付する。

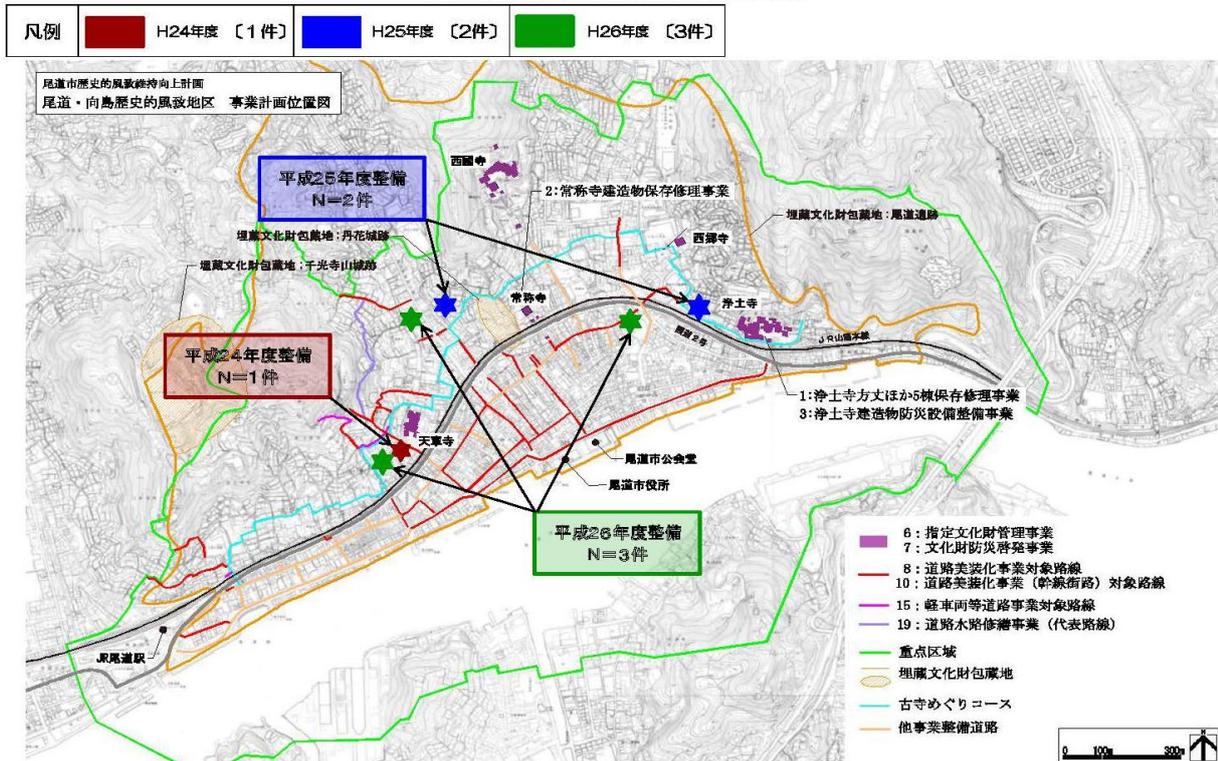
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備に要する経費に対して『尾道市まちなみ形成事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。  
平成26年度実績:3件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【まちなみ形成事業】



整備前



整備後



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
指定文化財管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和54年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 重要文化財建造物の防災設備が円滑に機能するよう、その点検や維持管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

対象建造物所有者による防災設備の点検に対し、補助金を交付した。(浄土寺・西國寺・西郷寺・常称寺・天寧寺・向上寺)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

防災設備保守点検状況(浄土寺)



防災設備保守点検状況(西國寺)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財防災啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	市民の協力を得ながら、文化財を火災等から守るため、文化財と防災に関する意識啓発を図るとともに、定期的・継続的に防災訓練を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の重要文化財所有寺院において、消防局、地域住民合同の文化財防火訓練を実施した。(浄土寺、西國寺、西郷寺、常称寺、天寧寺、向上寺など)また、文化庁パンフレットを配布・掲示し防災意識の向上に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況①



消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況②



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
道路美装化事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 神社仏閣等の歴史的建造物を回遊する小路や斜面地等の散策道において、舗装及び側溝の美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路美装化の全体計画延長はL=5,678mで、旧山陽道(市道本通線:尾道本通り商店街)を中心とし、旧山陽道に並行する「通り」と呼ばれる路線や旧山陽道と交差し斜面地に延びる「小路」と呼ばれる路線の舗装及び側溝の美装化を実施する。

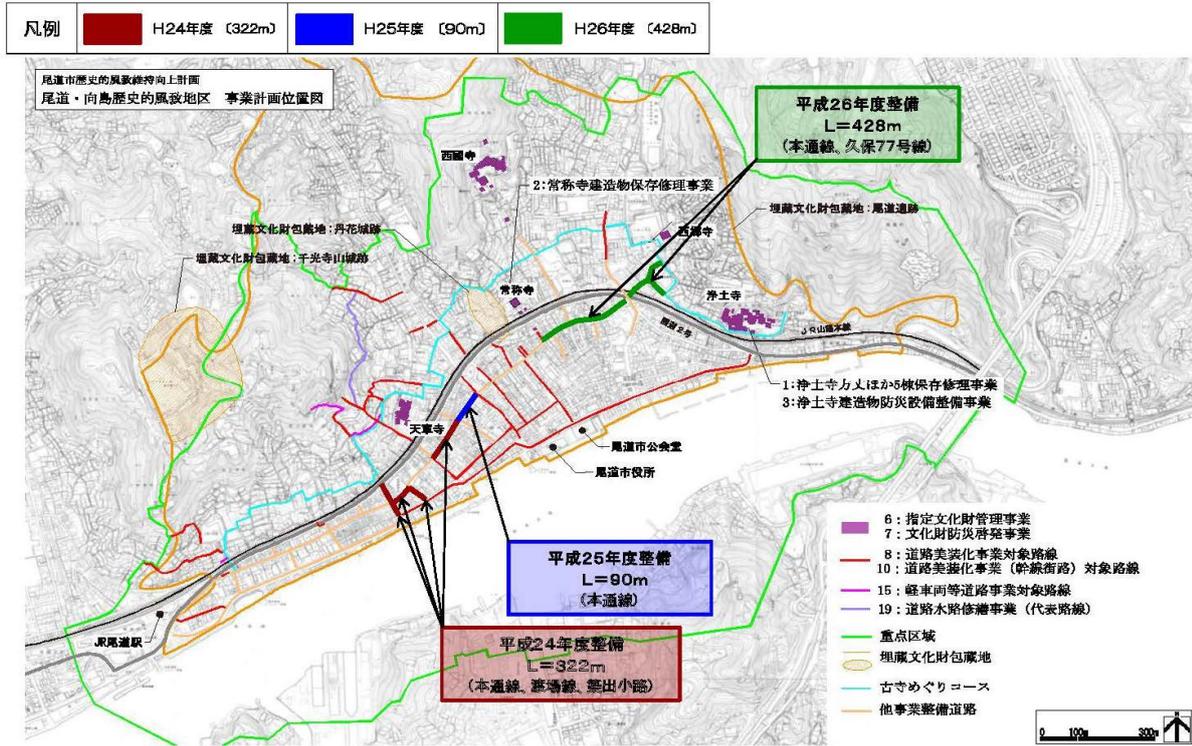
平成24年度から整備を開始し、平成26年度も引き続き舗装及び側溝の美装化を実施した。

◇平成26年度整備延長 L=428m

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【道路美装化事業】



整備前



整備後



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
道路美化事業(幹線街路)		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街路事業)

計画に記載している内容 旧西国街道にあたる久保長江線の歩道において、舗装の美化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市計画法の事業認可(～平成29年度)を受け事業を実施した。  
平成24年度から用地買収・建物補償等を実施、平成26年度においては、用地買収部分の管理工事(アスファルト舗装等)を実施した。

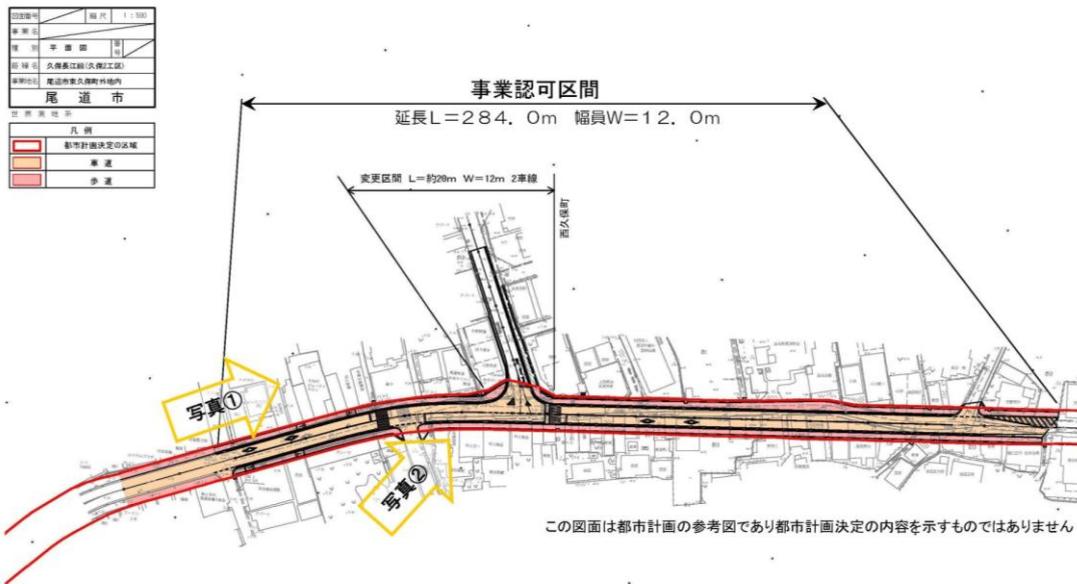
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【道路美化事業(幹線街路)】



状況写真①



状況写真②



評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
沿道建造物等修景事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～33年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	新たに美装化を行う道路及び既に美装化された道路や神社仏閣の参道において、その沿道の建造物や工作物の修景を行う。	

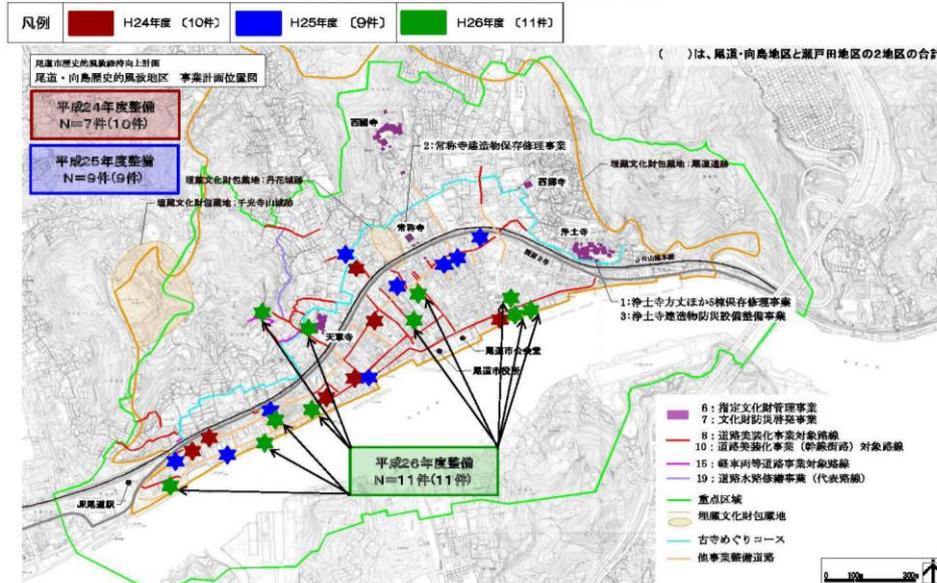
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

修景整備に要する経費に対して『尾道市沿道建造物等修景事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について要望していく。  
平成26年度実績 11件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【沿道建造物等修景事業】



整備前



整備後



評価軸③-10  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況

老朽危険建物除却促進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間 平成24年度～33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 良好な景観の形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適正に管理されていない老朽危険建物の除却に要する経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

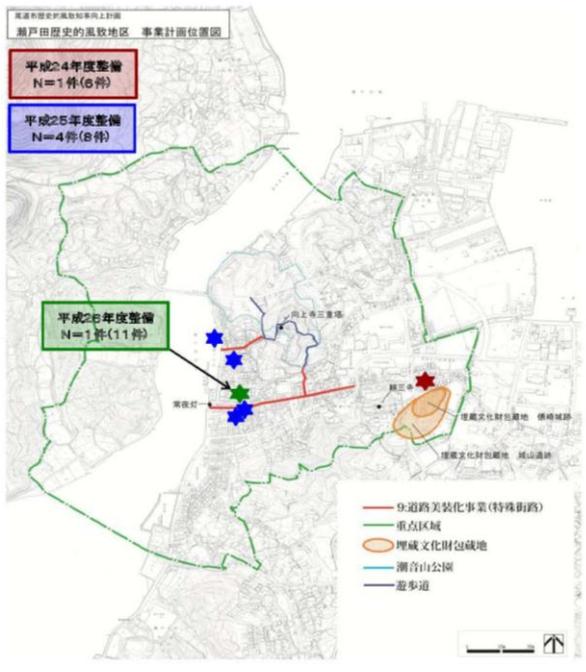
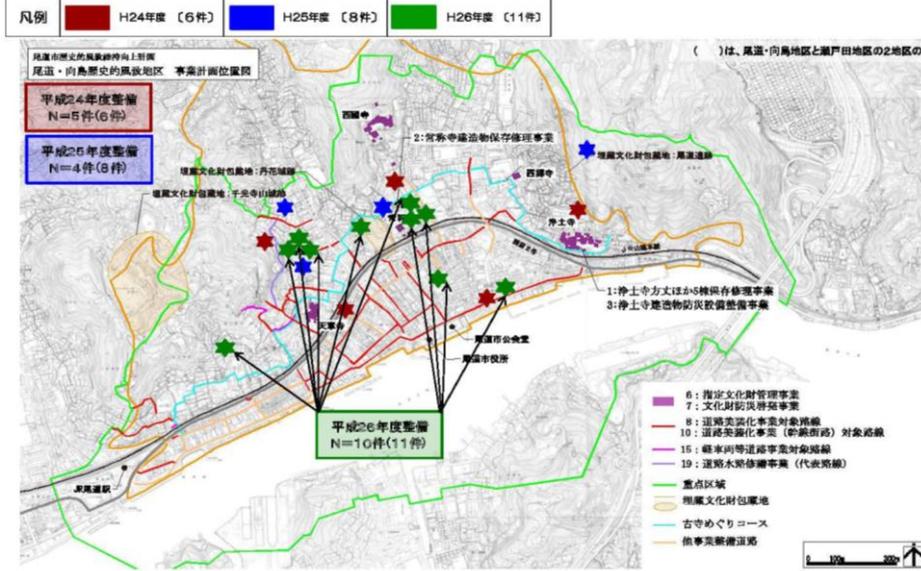
除却に要する経費に対して『尾道市老朽危険建物除却促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。  
平成26年度実績 11件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【老朽危険建物除却促進事業】



整備前



整備後

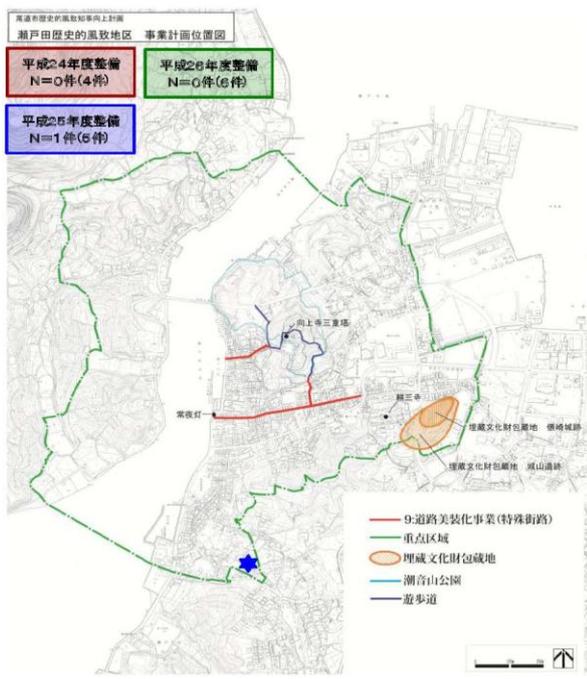
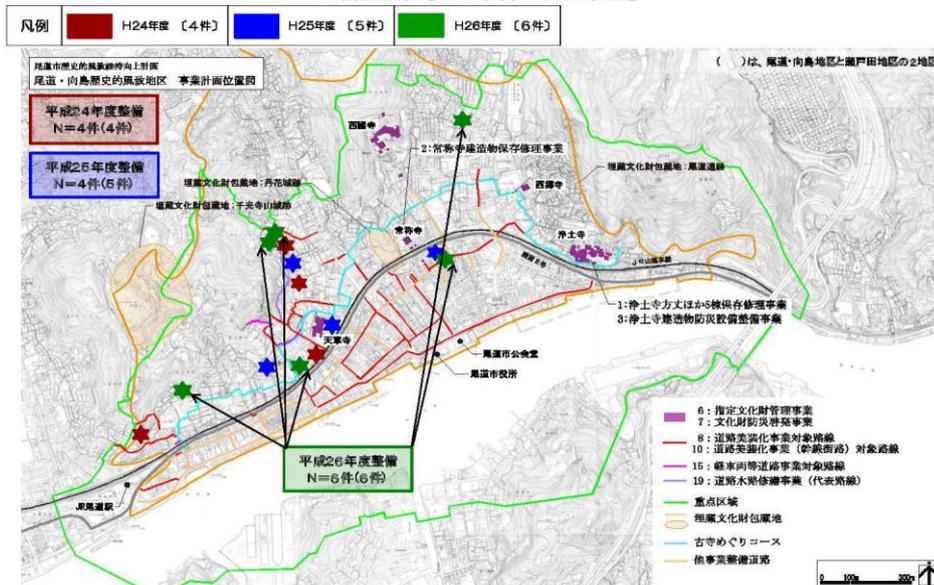


評価軸③-11  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
空き家再生促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	空き家の有効利用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家の再生に必要な改修に要する経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
再生に要する経費に対して『尾道市空き家再生促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。 平成26年度実績 6件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【空き家再生促進事業】



整備前



整備後



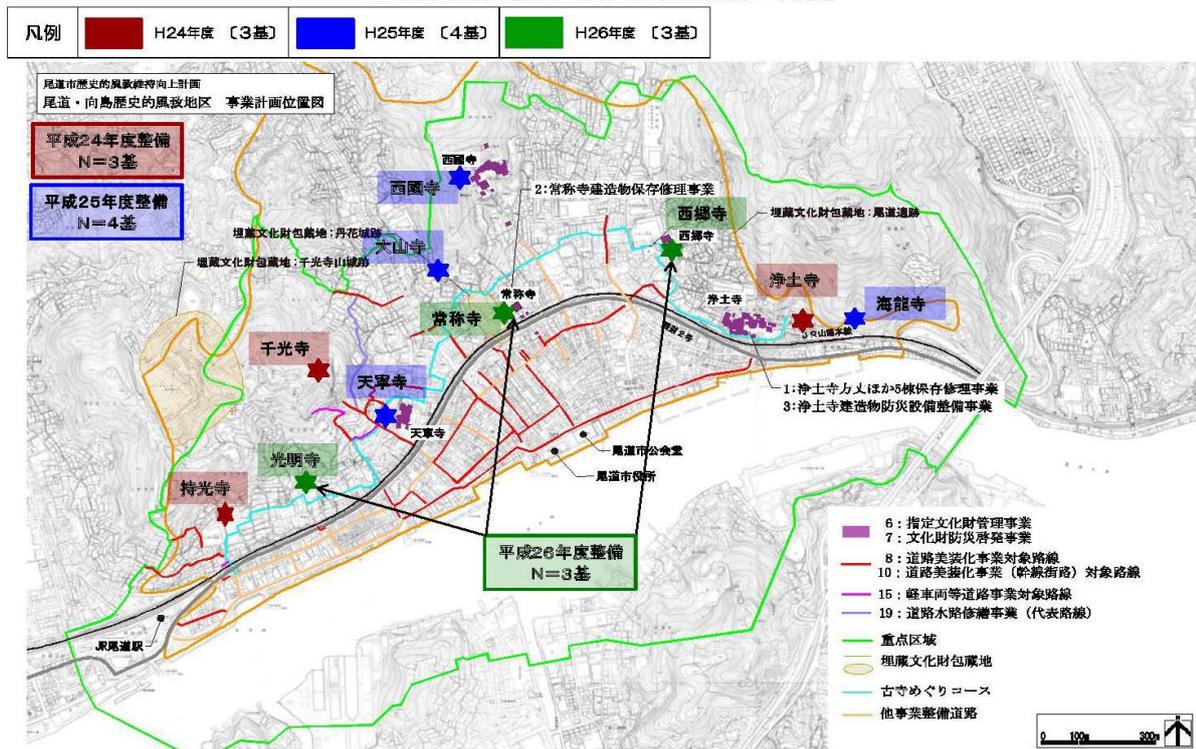


評価軸③-13  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
多言語音声設備設置事業			現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成24年度～33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	神社仏閣等や観光施設等において、海外からの観光客にも対応可能な多言語の音声システムを備えた設備を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
尾道市における観光分野において、多大な協力のある宗教法人に承諾を得て順次設置を進めた。 平成26年度実績 N=3基			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【多言語音声設備設置事業】



整備後(西郷寺)



整備後(常称寺)



整備後(光明寺)



評価軸③-14  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
歩行者安全対策事業		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 坂の多い尾道市において、市民や観光客の円滑な歩行を補助するため、周囲の歴史的な背景を持つ街並みに調和した新たなデザインの手すりを設置する。また、劣化している手すりについても、同様なデザインへの更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

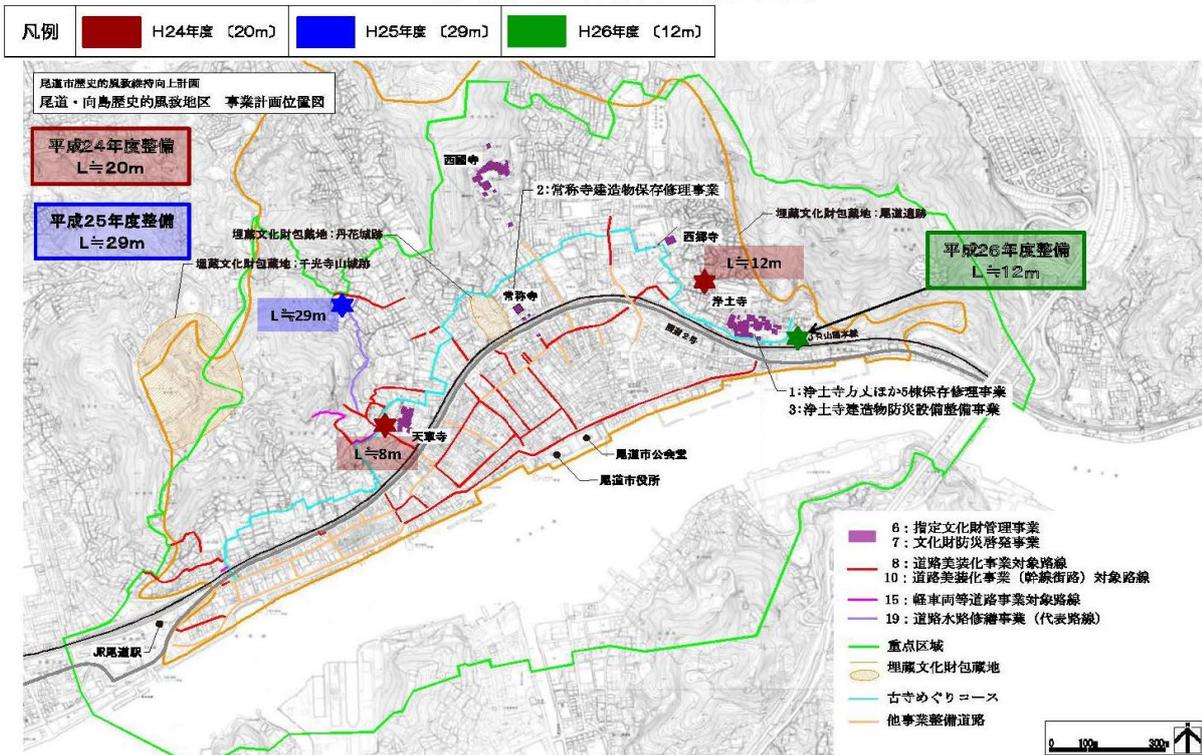
地域住民の要望及び現地調査に基づき対象地区を選定し、街並みに調和したデザインの手すりを設置した。  
平成26年度実績 L=12m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【歩行者安全対策事業】



整備前



整備後



評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況

道路水路修繕事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	---

事業期間 平成24年度～33年度

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容 坂の多い尾道市において、市民や観光客の安全な歩行のために、劣化によって構造的に安全面の問題があるものや美観が損なわれている階段及び水路等の修復を行い、街並み景観の形成の促進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

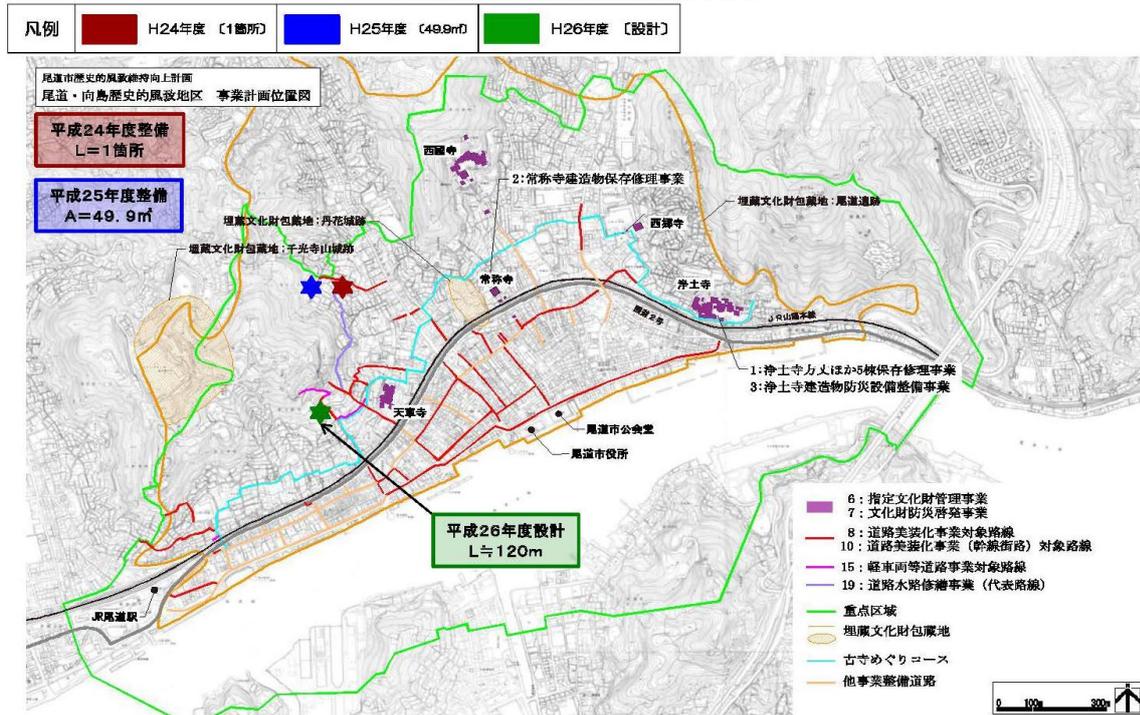
斜面地の通称「千光寺新道」において、道路美装化、街灯と併せて水路修繕について調査設計を行った。  
平成26年度実績 調査設計L=120m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

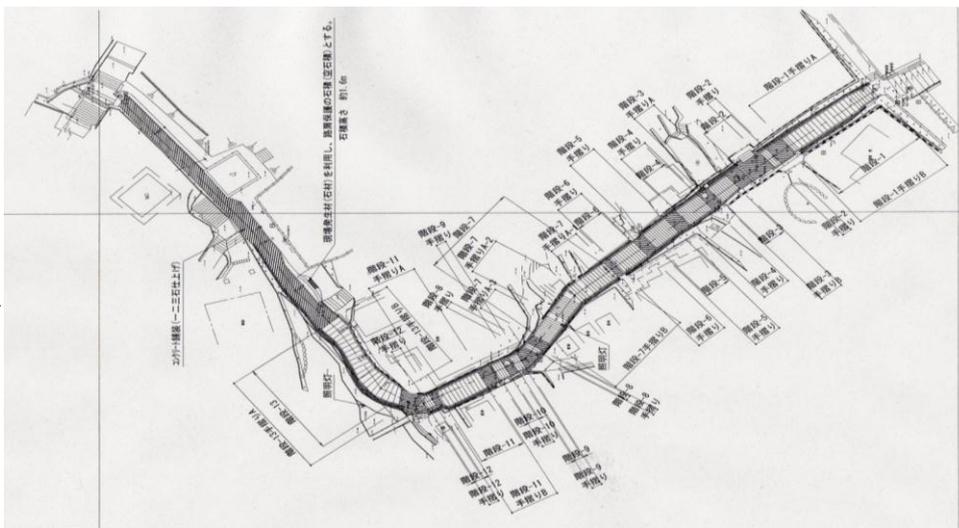
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【道路水路修繕事業】



調査・設計図面



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
文化財調査・研究事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容 文化財総合的把握モデル事業(平成20年度～22年度)を継承する形で、計画的・継続的に文化財の調査・研究を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

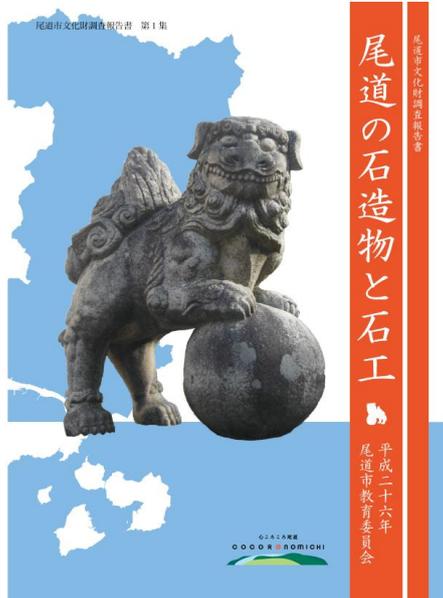
市内仏像・石造物・民俗文化財の調査を実施し、石造物調査報告書を刊行した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

市内仏像調査の状況



石造物調査報告書

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
郷土芸能祭開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	尾道市内の神楽や鉦太鼓踊り、太鼓等の民俗芸能を市民に披露し、民俗芸能の普及及び顕彰に努める。重点区域をはじめ尾道市における郷土芸能を広く紹介するとともに、普及・啓発を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郷土芸能祭を尾道みなと祭にあわせて開催した。 ◇平成24年度:平成24年4月28日～29日 ◇平成25年度:平成25年4月27日～28日 ◇平成26年度:平成26年4月26日～27日			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

広報おのみち：平成26年4月号：P32

尾道 4月26日(土) 4月27日(日) <http://www.onomichi-matsuri.jp/>

天候等により、行事の内容・会場・時間等が変更となる場合があります。尾道港祭協会 ☎0848-38-9184(土・日・祭当日を除く) ☎0848-23-9175(祭当日)

4月26日(土)

- 駅前ステージ・港湾緑地**
- 11:00～ 開会セレモニー〔尾道市立幼稚園児ええじゃん披露〕
- 11:20～ ミス尾道交代式
- 11:40～ 姉妹都市交流式典・郷土芸能披露  
〔今治市/今治踊り・来島水軍浪煙太鼓・ダンスバリサイ・権ぎ獅子、尾道市/尾道三下がり、備後かわち太鼓〕
- 15:00～ ええじゃんSANSА・がり 踊り披露〔一般・グランプリ部門〕
- 19:50～20:40 総おどり/ええじゃんSANSА・がり 表形式〔一般・グランプリ部門〕

海岸通り〔桂馬パーキング→公会堂前〕

- 13:10～ 尾道みなと祭スペシャルパレード  
尾道正朝三下がり、大正浪漫着物パレード、キッズバイクパレード、観光アシスタントパレード、尾道ベッチャー太鼓、尾道さくらコレクションパレード、「東京ディズニーリゾート」スペシャルパレード

海岸通り〔鷗州整→桂馬パーキング前〕

- 14:15～19:00 ええじゃんSANSА・がり踊りコンテスト〔一般・グランプリ部門〕



- 市役所駐車場・公会堂前広場**
- 11:50～12:50 尾道さくらコレクションファッションショー
- 13:00～17:00 ふるさとステージ〔郷土芸能披露 音楽ライブ〕

4月27日(日)

- 駅前ステージ・港湾緑地**
- 10:00～ 公立保育所・認定こども園・法人立保育園 園児ええじゃん披露
- 10:50～ ええじゃんSANSА・がり 踊り披露/表形式〔幼児・小学生・中学生部門〕
- 15:30～ 神輿披露
- 16:15～17:00 フィナーレ〔ベッチャーサンパ・ベッチャー太鼓〕、閉会セレモニー

海岸通り〔鷗州整→桂馬パーキング前〕

- 10:10～ ええじゃんSANSА・がり 踊りコンテスト〔幼児・小学生・中学生部門〕

市役所駐車場・公会堂前広場

- 10:00～12:00 ふるさとステージ〔尾道ベッチャー太鼓、因島村上水軍陣太鼓・太鼓集団鳥衆、備後かわち太鼓〕
- 12:30～17:00 尾道ストリートミニオリンピック〔ハンディキャップを持つ一流アスリートによる陸上競技・トークショー〕

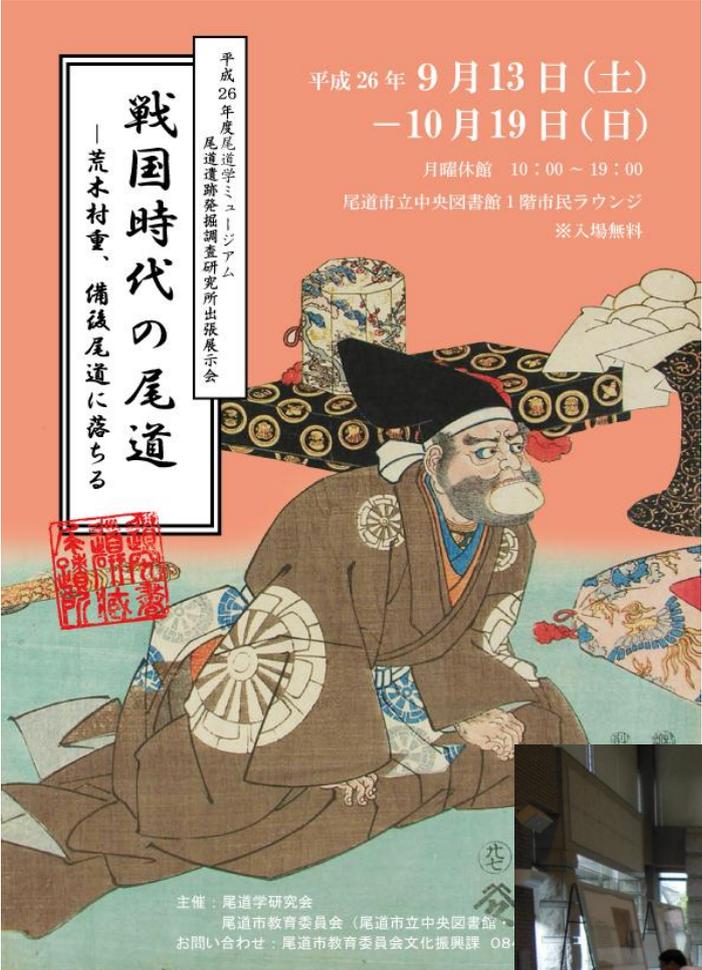
車両交通規制

- 市道尾道駅前尾崎線(駅前交差点～港湾緑地東端「すいど」先)  
〔歩行者用道路〕26日12:30～22:00/27日10:00～17:00
- 市道尾道駅前尾崎線(後藤屋～尾道市公会堂交差点)  
〔車両通行禁止〕26日12:30～14:20
- 市道尾道駅前尾崎線(徳小川久商店～後藤屋)  
〔車両通行禁止〕26日12:30～20:00/27日10:00～16:00
- 市道渡場線(公営渡船交差点～阿波商店)  
〔車両通行禁止〕26日12:30～20:00/27日11:00～16:00
- 本通り商店街(美美子像先～九十九俱楽部)  
〔歩行者用道路〕26・27日11:00～20:00
- 長江口交差点(市役所方面)〔進入禁止〕26日12:30～14:20

芸能祭(尾道市公会堂前)



評価軸③-18  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
史跡等総合活用支援推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25、26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業		
計画に記載している内容	埋蔵文化財の整理・情報公開・データベースの整備・出張展示会、講演会の開催を行う。 特に、重点区域(尾道・向島歴史的風致地区)では、尾道遺跡に関する資料・データ等の整理、情報公開、啓発等に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇出張展示会「尾道 塩の道」:平成25年1月12日～1月27日(会場=おのみち街かど文化館)[参加者数1,840名] ◇出張展示会「尾道の石造と石工」:平成25年8月9日～9月1日(会場=おのみち街かど文化館)[参加者数3,780名] ◇出張展示会「荒木村重、備後尾道に落ちる」:平成26年9月13日～10月19日(会場=尾道市立中央図書館市民ラウンジ) (参加数未計測)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
出張展示会「荒木村重、備後尾道に落ちる」:チラシ			
 <p>平成26年度尾道学ミュージアム 尾道遺跡発掘調査研究所出張展示会</p> <p>戦国時代の尾道 — 荒木村重、備後尾道に落ちる</p> <p>平成26年 9月13日(土) — 10月19日(日)</p> <p>月曜休館 10:00～19:00 尾道市立中央図書館1階市民ラウンジ ※入場無料</p> <p>主催:尾道学研究会 尾道市教育委員会(尾道市立中央図書館・) お問い合わせ:尾道市教育委員会文化振興課 08</p>			
出張展示会「荒木村重、備後尾道に落ちる」:展示状況			
			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財愛護少年団事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和43年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25、26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業		
計画に記載している内容	文化財愛護少年団の歴史は長く、毎年小中学生を対象に「文化財愛護少年団学習会」を様々な形で開催し、文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。 今後とも、文化財愛護少年団活動に対する普及・啓発を図りながら、参加を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財愛護少年団事業学習会 ◇平成24年度:全7回(7月1日、7月30日～31日、8月18日、9月15日、11月10日、2月23日、3月24日)[延べ参加者数 335名] ◇平成25年度:全7回(6月30日、7月29日～31日、8月17日、10月19日、11月16日、2月22日、3月29日)[延べ参加者数 307名] ◇平成26年度:5回(7月5日、7月28、30日、8月16日、8月28日、11月15日)(延べ参加者数 197名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

文化財愛護少年団事業学習会の開催状況①



文化財愛護少年団事業学習会の開催状況②





評価軸③-21  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
民俗芸能等支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和43年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容  
尾道市において文化財指定を受けている民俗芸能の活動を支援し、文化財の保存・継承や地域の活性化を促進する。また、尾道市には未指定の無形民俗文化財(民俗芸能)も多数あり、その担い手・後継者の確保や開催の支援を検討する。さらに、民俗芸能の調査や記録、情報発信等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

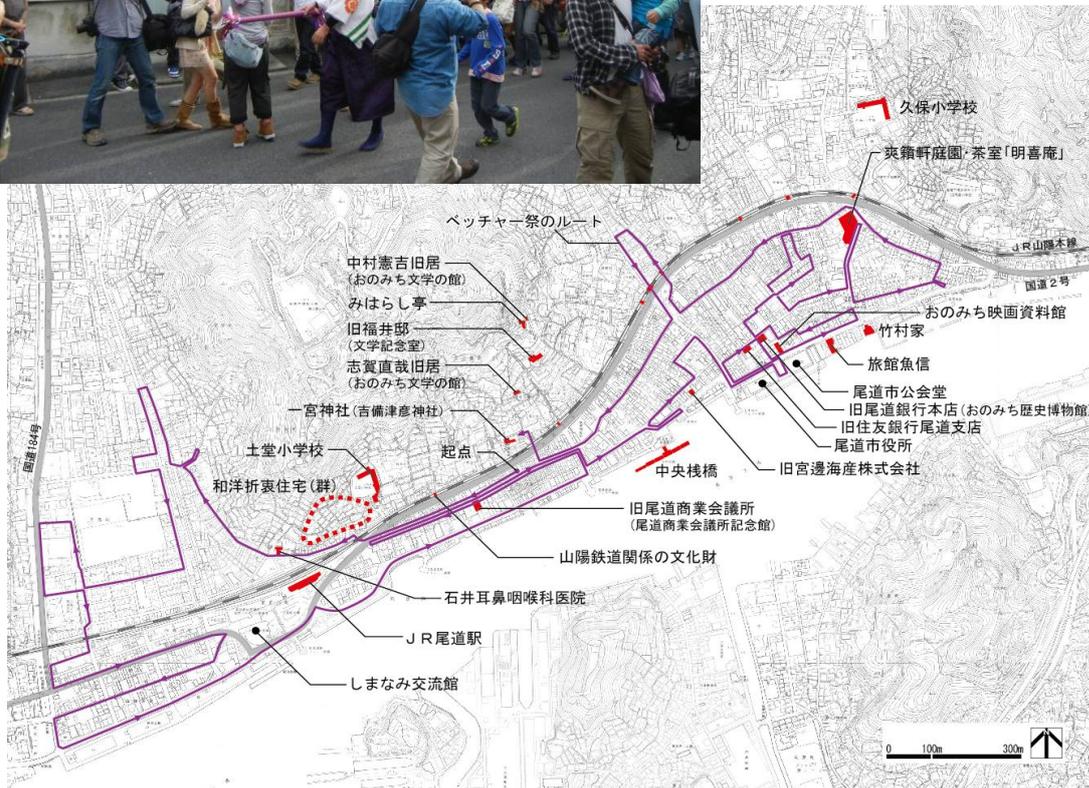
文化財保存事業として、民俗芸能団体に補助金を交付した。  
(補助金対象＝県及び市指定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

補助金を交付した民俗芸能事例(バッチャー祭り)



バッチャー祭りのルート(平成23年)

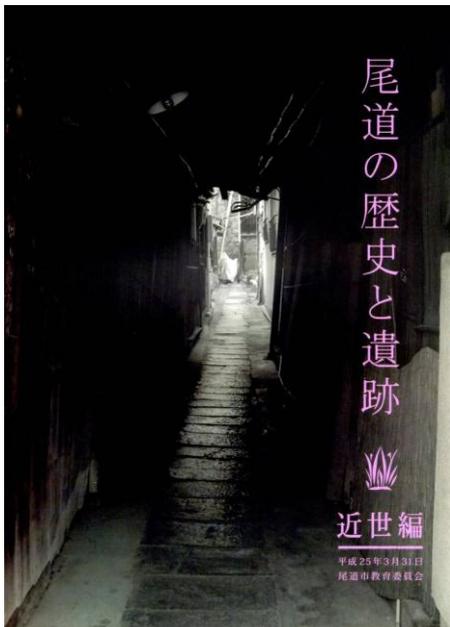
評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

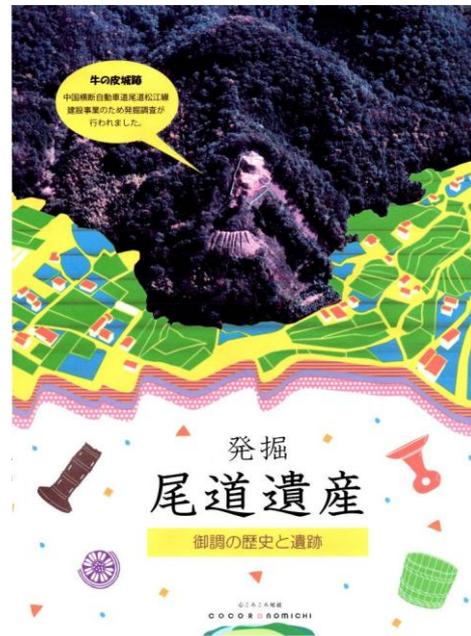
		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
尾道歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業		
計画に記載している内容	尾道市では、文化財愛護少年団活動や学校教育等を通じて、小さいころから文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。こうした取り組みを継承・発展させるため、尾道市の学校教育(小学校中学年～中学生を主対象)における歴史読本の作成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇平成24年度 埋蔵文化財広報冊子「尾道の歴史と遺跡 近世編」500部刊行、配布 ◇平成25年度 埋蔵文化財広報パンフレット「発掘 尾道遺産 御調編」3,000部作成 ◇平成26年度 埋蔵文化財広報パンフレット「発掘尾道市民遺産 街道編」3,000部作成			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

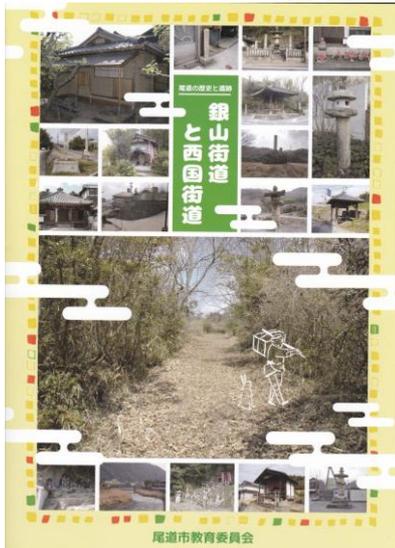
「尾道の歴史と遺跡 近世編」



「発掘 尾道遺産 御調編」



「発掘尾道市民遺産 街道編」



## 評価軸③-23

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財めぐり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和43年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25、26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業		
計画に記載している内容	尾道市では、区域・地域ごとに、またはテーマに基づいて、市民等が文化財に親しみ、学ぶ「古寺めぐり」などを行っている。 今後とも、こうした体験型の文化財めぐりを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇平成24年度:近代化遺産めぐり 平成24年12月1日 参加者35名			
◇平成25年度:島々の文化遺産めぐり 平成26年3月1日 参加者49名			
:文化財めぐり 平成26年3月7日 参加者19名			
◇平成26年度:尾道戦国ツアー 平成26年9月21日 参加者数 33名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

## 状況を示す写真や資料等

尾道戦国ツアーの状況①



尾道戦国ツアーの状況②



項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
近代化遺産活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	尾道市では、バスを利用して市内各地の近代化遺産をめぐる取り組みを行っている。今後とも、関係権利者・管理者の理解と協力を得ながら、近代化遺産の公開の促進に努めるとともに、「近代化遺産めぐり」などの開催を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇平成26年度:近代化遺産めぐり 平成26年12月1日 参加者数35名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
近代化遺産めぐり			



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
文化財の調査に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 地元調査員による有形文化財(建造物)、民俗文化財、歴史的景観(小景観:狭い範囲の景観)の調査、及び専門家による美術工芸品(仏像)、民俗芸能、歴史的建造物の調査を、市内全域の統一基準で実施しており、継続してその他の分野でも市内全域を対象とした文化財調査の実施に努める。  
 また、文化財調査の際には、市民参加型の調査を行い、郷土の文化財への理解と愛護精神の高揚を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財調査・研究事業(評価軸③-16:P20)を参照
- 近代化遺産調査・研究及び保存・活用検討事業

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-16:文化財調査・研究事業:P20



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財の修理に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 市内の文化財の状況を見ると、緊急性を要する文化財が多数見受けられ、指定文化財については、その損傷具合や緊急性を考慮し、修理事業を実施している。特に重要文化財の建造物は、その建築年代が古いことから、緊急性を要するものが多い。また、美術工芸品についても、修理の必要がある場合には、その状況を把握し、修理計画を作成することが求められる。ただし、美術工芸品の場合、その保管状況や防犯体制についても考慮する必要がある。教育委員会は、文化財所有者にその指導助言を継続的に行う。文化財の修理は、歴史的真正性を損なうことなく、適切な修理及び整備を実施するとともに、市民に理解を得られるよう適宜公開する機会を設け情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 重要文化財等保存修理事業＝浄土寺方丈ほか5棟保存修理事業(評価軸③-1:P5)を参照
- 重要文化財等保存修理事業＝重要文化財西國寺金堂建造物保存修理事業(評価軸③-2:P6)を参照
- 文化財保存事業

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-1：浄土寺方丈ほか5棟保存修理事業：P5



③-2：重要文化財西國寺金堂建造物保存修理事業：P6



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
文化財の防災に関する事項	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 特に建造物は、被害を受けやすく、修理に多大な時間と費用を必要とするため、防災対策を万全にし、被害を未然に防ぐこと、被害を最小限にとどめることが重要であり、防災設備の設置と点検を推進する。  
 また、従来の文化財の防災対策は、指定文化財に限定されることが多く、指定文化財以外の文化財や文化財の周辺環境に対しては、同様の防災対策はとられていないのが現状である。これらについては、指定文化財と同様の対策をとるのではなく、その状況に応じた防災対策を練る。そのためには、各地域の防災組織と情報交換を行い、文化財をとりまく地域ぐるみの防災体制の構築に努める。  
 また、防災だけでなく、防犯対策も必要であり、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。  
 文化財の適切な保存・活用のため、文化財所有者及び地域住民の防災意識を高め、文化財防災設備点検等を行う文化財管理事業を継続的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 重要文化財建造物防災設備整備事業＝浄土寺建造物防災設備整備事業(評価軸③-3:P7)を参照
- 指定文化財管理事業(評価軸③-5:P9)を参照
- 文化財防災啓発事業(評価軸③-6:P10)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-5：指定文化財管理事業：P9



③-6：文化財防災啓発事業：P10



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
文化財の継承の仕組みに関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財への関心と理解を高めていくため、子どもから高齢者まで、それぞれの関心や状況等に応じた文化財の啓発や学習・体験機会の確保に努める。  
 さらに、指定文化財または国登録文化財ではないものの中から、市民自らが価値や魅力を再認識して、残したい歴史文化資源として登録する(仮称)尾道市歴史文化資源市民登録制度の創設に取り組む。また、歴史文化資源が市民によって大切にされ、生かされ、次代に伝えていけるよう、市民や関係団体と協働しながら、啓発や情報提供、保存・活用の活動支援に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業(評価軸③-18:P22)を参照
- 文化財愛護少年団事業(評価軸③-19:P23)を参照
- 文化財講座開催事業(評価軸③-20:P24)を参照
- 登録有形文化財推進事業
- 民俗芸能等支援事業(評価軸③-21:P25)を参照
- 尾道歴史文化読本作成事業(評価軸③-22:P26)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-18：史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業：P22



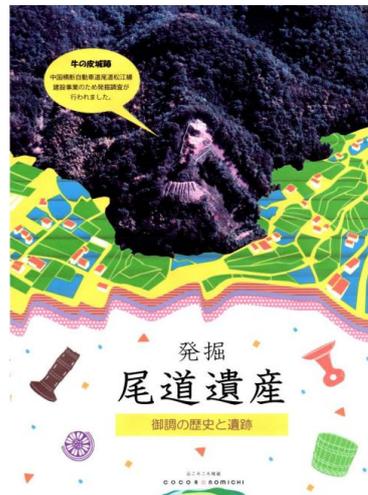
③-21：民俗芸能等支援事業：P25



③-19：文化財愛護少年団事業：P23



③-22：尾道歴史文化読本作成事業：P26



③-20：文化財講座開催事業：P24



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
文化財の活用に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財の保存・活用及び文化財を生かしたまちづくり等に関わる組織の設立や育成と支援を行うとともに、それらが連携し、協働による事業等を企画・推進する体制づくりに努める。また、組織への市民等の参加を促進するとともに、担い手の育成支援に努める。  
文化財と市民をつなぐ体制づくりが必要であり、市民参加型の様々な事業の実施を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財めぐり事業(評価軸③-23:P27)を参照
- 近代化遺産活用事業(評価軸③-24:P28)を参照
- 文化施設ネットワーク事業(評価軸③-25:P29)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-23：文化財めぐり事業：P27



③-25：文化施設ネットワーク事業：P29

尾道商業会議所記念館第二十五回企画展示  
**尾道商人と茶の湯、茶園、そして道煮**  
 会期 二〇一四年九月十二日(金)～二〇一五年一月七日(水)  
 会場 尾道商業会議所記念館(観覧室) 十時～十八時 本館休館 入場無料  
 主催 尾道市(商業部工務)企画制作 尾道学研究会  
 協力 広島県立文書館 尾道遺跡発掘調査研究所 おのみち歴史博物館  
 妙宣寺 徳川美術館 NIKラオチ中国



③-24：近代化遺産活用事業：P28



評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

Table with columns: 報道等タイトル, 年月日, 掲載紙等, 評価対象年度. Contains a list of news items from 2014 to 2027 regarding cultural heritage and local news in Echigo City.

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年6月6日の計画認定以降、報道に取り上げられる機会が増え、視察や研修会の会場となるなど認知度が高くなっている。また、主催行事や出張展示などについては参加者・入場者の増加につながっており、補助金利用について問い合わせが増加した。さらに、NPO法人による活動も広く周知され、歴史まちづくりに対する関心が高まっている。

進捗状況 ※計画年次への対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

Collage of images and text including: '文化庁長官表彰(広報おのみち6月号)', '荒木村重、備後尾道に落ちる...', '尾道松江線 発掘調査の成果...', '戦国時代の尾道', '牛の皮城跡の発掘調査から', '山田繁樹さん', '古代出雲歴史博物館', '縄文人の知恵体験...', '「牛の皮城跡」発掘...', and a copyright notice: '著作権保護のため報道記事は掲載していません。'

評価軸⑥-1  
その他

項目 評価対象年度 平成26年度

他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

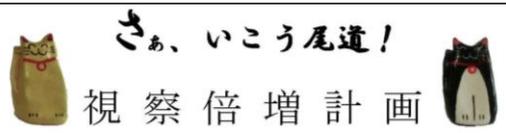
歴まち計画の認定を受けたことにより、各都市からの視察や調査が増えた。  
また、平成26年度から議会事務局が「視察倍増計画」を実施し、積極的な視察の受け入れを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



365プロジェクト

- プロジェクト参加、365団体を目指す！
- 視察受入、年間365日対応を目指す！
- 視察受入、年間365件を目指す！
- 視察受入、年間3650人を目指す！
- 視察受入、経済効果3650万円を目指す！



※ 視察倍増計画に協力いただける  
随時募集しています。

参加及び視察のお問い合わせ先

尾道市議会事務局 住所：尾  
TEL：08

6位 空き家再生促進事業  
(文化芸術創造都市部門文化庁長官表彰)



7位 観光施策事業 (ふるさとイベント大賞受賞：水軍まつり)



水軍まつり8月30日 全国仮装大会9月26日 ヘッダーまつり11月3日

8位 フィルムコミッション事業 (ソフトバンクロケ地等)



9位 景観事業 (都市景観100選・日本の展望スポット第5位)



10位 広域連携防災システム (屋上防災ヘリポート)



お待ちいたしております。ニャン！

尾道市視察 BEST10!

1位 スローフードのまちづくり  
(瀬戸内のめぐみいっぱい 尾道ラーメン・尾道巻)



2位 尾道市民病院 (地域包括支援 尾道方式)



3位 歴史的風致維持向上計画 (訪れたい坂の名所第3位)



4位 サイクリングロード・レンタサイクル事業  
(おすすめサイクリングコース第1位)



5位 公立みつぎ総合病院 (地域包括ケアシステム みつぎ方式)



視察・調査等の実績  
平成24年度:10件  
平成25年度:15件  
平成26年度:18件

視察倍増計画のチラシ(尾道市議会事務局)

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時 平成26年度第1回:平成27年3月18日(水)開催	
<p>(コメントの概要)</p> <p>○空き家再生促進事業について          空き家バンク制度を利用して移住してくる若手の方は、新しい面白い環境で自分たちなりのユニークな暮らしをしたいとの思いを持って尾道を訪れるが、金銭的に余裕がある訳ではないため、新たな入居者を後押しする、かなり有効な事業となっていると思う。</p> <p>○まちなみ形成事業について          空き家の再生だけでなく、文化的な価値を図られる訳であり、簡単に活用できずハードルも高いが、新たな入居者の後押しをしている、かなり有効な事業となっていると思う。</p> <p>○道路美装化や手すりなどのデザインについて          色や形などのデザインを審議したり、住民たちの意見を吸い上げて反映させていくようなシステム(機能、組織)を作って、うまく機能させると、住民それぞれの生活のカラーがにじみ出るようなまちづくりが展開できるのではないと思う。すべて同じセンスで統一、また、一元的な価値観で統一してしまうと、まるで違う面がでてしまうことがある。一度設置してしまうと長年残るものなので配慮してすすめてほしい。</p> <p>○老朽した空き家の撤去後の跡地利用について          特に土地の少ない山手の斜面地においては、老朽した空き家の撤去後の跡地に、下水の整備や浄化槽を設置していくなどの対応が提案できれば良いのではないか。</p> <p>○住民及び観光客の声について          各種の事業は、平成24年度からはじめ、3年が経過するが、住民や観光客の「尾道が変わった、良くなった」といった声などについて、評価軸に盛り込んではどうか。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>○計画に基づき実施している助成制度については、引き続き制度活用の周知を図っていく</p> <p>○道路美装化や手すりなどのデザインについては、引き続き周辺住民の意見を聴きながら決定していく</p> <p>○老朽した空き家の撤去後の土地への浄化槽等の下水整備については、法的な問題も含め関係課と協議していく</p> <p>○文化財を活かした観光分野といった評価軸の設定についても検討していく</p>	